



小金井市

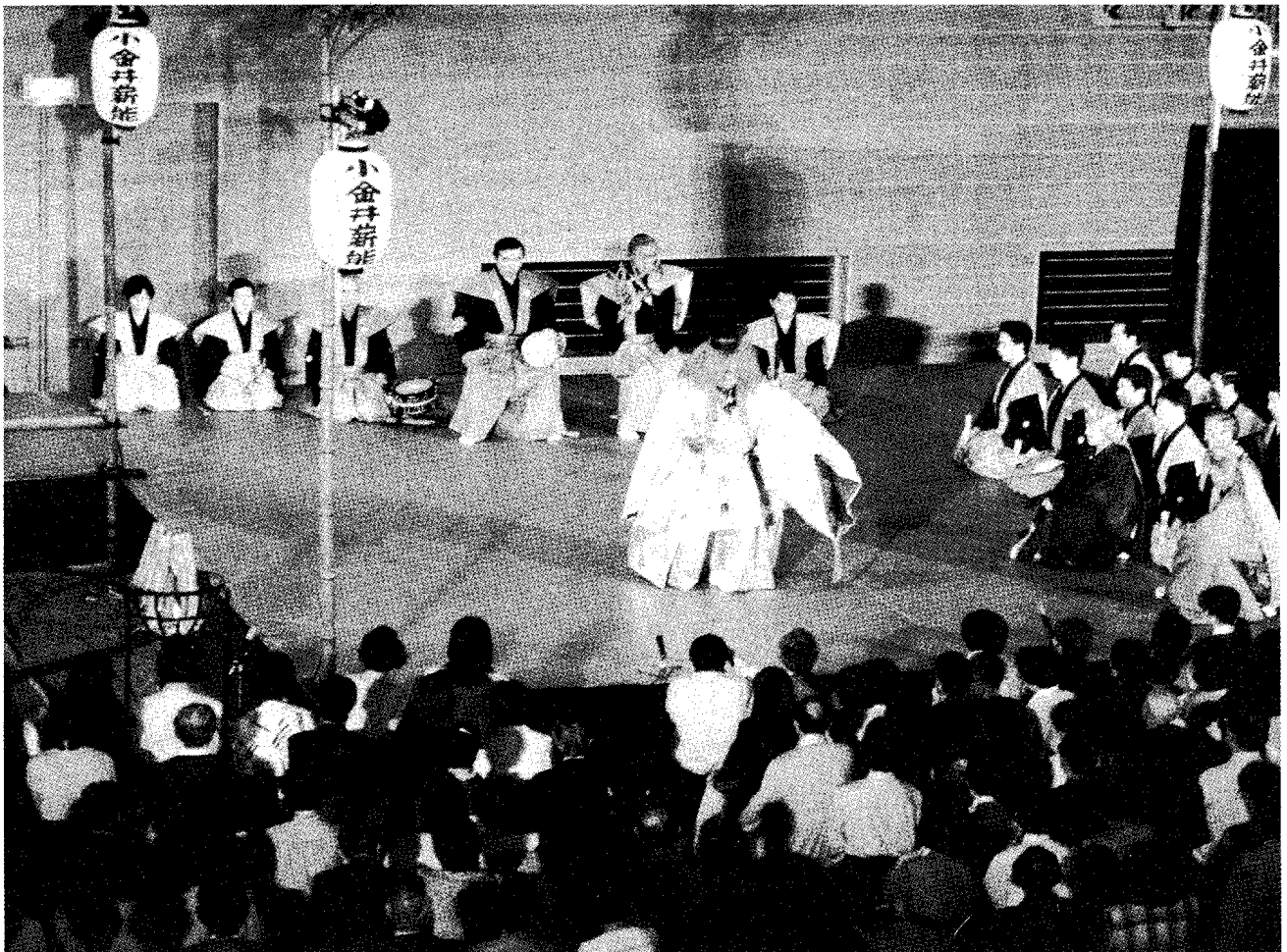
議会だより

9月定例会

(132号)
平成元年(1989年)11月17日発行

小金井市本町六丁目6番3号 電話(83)1130(直通)

小金井市議会事務局発行



秋に舞う(10月7日、総合体育館で行われた新能)

9月定例会日誌

- 9月13日―開会。会期を29日までの17日間と決定。学校施設管理に関する決議の対応についての市長報告、質疑。建設委員長報告、採決。一般会計補正予算の説明、質疑。
- 14日―特別会計補正予算、特別職報酬等改正条例など11件の説明、質疑。
- 18日―組織条例と組織規則に関する決議等への対応についての市長報告、質疑。一般質問。
- 19・20日―一般質問。
- 21日―厚生文教委員会。
- 22日―建設委員会。
- 25日―総務委員会。ごみ問題対策特別委員会。
- 26日―予算特別委員会。
- 27日―庁舎建設問題等調査特別委員会。
- 28日―学校施設管理に関する決議の対応についての市長報告、質疑。
- 29日―予算・庁舎建設問題等調査特別委員会。会期を1日間延長。
- 30日―28日に引き続き市長報告、質疑。昭和63年度決算5件の説明、質疑。厚生文教・建設・総務・予算特別委員長報告。特別職報酬等改正条例4件、補正予算4件を除き、採決。意見書5件を可決。会期をさらに10月9日まで9日間延長。
- 10月9日―特別職報酬等改正条例4件の訂正。会期をさらに1日間延長。
- 10月10日―特別職報酬等改正条例4件、補正予算4件の討論、採決。市長の執行責任に関するけん責決議を可決し、閉会。

一般会計補正予算(第4回)を可決 はけの森緑地用地取得費等を計上

市長の行政執行に関し けん責決議を全会一致で決議

平成元年第3回定例会は、9月13日に開会し、会期を3回にわたって計11日間延長して、10月10日に閉会しました。

今定例会では、市長から一般会計補正予算など議案17件が提案され、昭和63年度決算認定5件を継続審査としたほかはすべて原案どおり可決しました。

また、「学校施設管理に関する決議の対応について」と「組織条例と組織規則に関する決議等への対応について」の市長報告は、今後の対応を見守ることとして中間報告にとどめました。

一般会計補正予算は、予算特別委員会では市道14号線のバイク転倒事故損害賠償金に関連して、道路の維持、補修にあたっての組織上の問題や、緊急課題となっている老人住宅確保に向けての今後の対応などをたざした後、否決しました。

9月30日の本会議では、補正予算4件及び特別職報酬等改正条例4件の調整がととのわず、以上8件の採決を保留し、会期を延長しました。10月10日の本会議では、市長の執行責任に関するけん責決議を全会一致で決議するとともに、保留していた補正予算、特別職報酬等改正条例の計8件を賛成多数で可決しました。

補正予算の審査概要

9月26・29日の2日間にわた
り予算特別委員会を開催し、平
成元年度一般会計補正予算及び
特別会計補正予算3件の審査を
行いました。

- 林 茂夫 稲葉 孝彦
- 中根 三枝 五十嵐京子
- 青木ひかる 長谷川博道
- 森戸 洋子 藤川 隆則
- 大島 龍男 大賀 昭彦
- 田中 恵子 小池 康範
- 武井 正明

◎渡辺 昭吉 ○小尾 武人
◎委員長 ○副委員長

平成元年度一般会計補正予算 (第4回)

簡易焼却炉購入費補助金(仮称)
はけの森緑地用地取得費及び整備
工事費、武蔵小金井駅北口ロータ
リー整備工事費等を計上する一方
(仮称)一之久保集会所用地取得費
を減額することにより、差し引き
7億858万1000円を追加し、予算総額
を247億3493万3000円とするものです。

会 計 別 補 正 予 算

(単位:円)

会 計 別	補正前の額	補 正 額	計
一 般 会 計 (第4回)	239億4910万2千	7億8583万1千	247億3493万3千
国民健康保険特別会計 (第1回)	34億2681万2千	1億 511万8千	35億3193万
下水道事業特別会計 (第1回)	20億8706万2千	902万	20億9608万2千
受託水道事業特別会計 (第1回)	11億9153万1千	1億3759万5千	13億2912万6千

主 な 質 疑

道路の維持、

管理は万全か

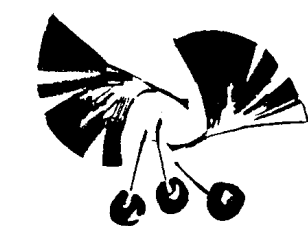
問 市道14号線(小金井公園北
側道路)におけるバイク転倒事故
で、市は道路管理上の賠償責任を



かけがえのない緑を後世に残したい

答 議会でも同用地の買収・保存を求める陳情が採択されたことや、将来隣の緑地や湧水と一体化して緑地保全することを考え買収することとした。当面は樹木の植栽をするなどして、樹林地の回復を図り、将来的には市民に開放できるよう考えた。また、緑地等の買収基準を作成し、議会や緑地保全審議会と十分相談しながら対応したい。

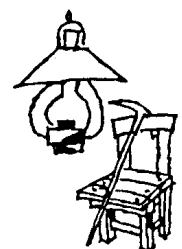
第3に、総合体育館について、



また、武蔵小金井駅北口駅前修景事業の一環として、ロータリー整備工事費1545万円を予算計上して

負っている。このことは建設部管理課の道路の点検、管理が不十分であったことや道路の維持、補修を実施に行っている建設部土木課との事務的な連携がとられていなかったことも原因である。早急に管理課と土木課の事務分掌上の責任と権限を明確にし、道路の維持、補修に万全を期すべきではないか。

答 管理課の体制上、道路の点検等を定期的に行うことは難しく、土木課維持補修係員が作業現場に向かう際などに点検し、補修するという方法をとっている。事務分掌が不明確な点については早急に改善するよう努力したい。また、できるだけ早く全市的に道路の再点検を行い、危険な箇所があれば



はけの森緑地用地

取得について問う

問 長期計画にもなく、また市の環境緑地の指定も受けていない(仮称)はけの森緑地用地取得費が予算計上されている。取得にあたっては、東京都の保存樹林地等公有化資金貸し付け制度を利用して買収するというが、なぜこの時期に借り入れまでして、買収するのか。また、今後の利用計画と買収の基準を聞きたい。

答 議会でも同用地の買収・保存を求める陳情が採択されたことや、将来隣の緑地や湧水と一体化して緑地保全することを考え買収することとした。当面は樹木の植栽をするなどして、樹林地の回復を図り、将来的には市民に開放できるよう考えた。また、緑地等の買収基準を作成し、議会や緑地保全審議会と十分相談しながら対応したい。

老人住宅の
実現に向けて

問 老人住宅の実現に向けて市は基金の積み立てを予定しているようだが、どのような形で実施しようとしているのか。

答 新年度のできるだけ早い時期に実施できるよう要綱等の作成に取り組んでいきたい。また、基金1億円を積み立てたとすると年間500万円程度の運用益金が得られるので、10戸程度の借上げが可能と考える。

反対討論 (要旨)

共産党 長谷川議員 第1に、十分歳入が予測される市民税の譲渡所得分などを計上し、市民が要求しているさまざまな施策を実現すべきであるにもかかわらず、義務的経費を中心とした極めて消極的な予算編成になっている。

第2に、消費税反対をいまだに表明しない市長の姿勢の問題である。消費税は市財政に大きな影響をもたらそうとしており、また、先の市議会議員選挙をはじめとして各選挙で市民は消費税廃止の審判を下している。自らの選挙公約に違反し、議会決議、世論をも無視する市長の態度は許すこととはできない。

市民から寄せられている多くの苦情、改善要望がほとんど未解決のままである。

第4に、市道14号線のバイク転倒事故に関し、道路管理者である市長が道路の点検を怠り、危険な箇所を補修しなかったことである。

第5に、中間処理場での爆発等の事故について、議会への報告が約1か月も遅れ、さらには修繕料を予備費から充当するなど、事務執行にけじめがなく、問題である。以上により、反対する。

反対討論 (要旨)

社会党 小池議員

第1に、本定例会の質疑の中で、市長の議会無視の姿勢とリーダーシップの欠如が明らかになった。学校施設管理や組織改正問題について、議会が決議をし、再三、早期解決を求めているにもかかわらず、議会意思を無視し続けている。市長の態度は非常に遺憾である。

第2に、市道14号線でのバイク転倒事故について損害賠償費を予算計上しているが、本来、事故を未然に防ぐため、監察体制や管理課と土木課の相互連絡調整がきちんとなされていなければならないと考える。

第3に、高齢化社会を目前にして、老人福祉センター建設などの事業が、ならん具体化されていないのは非常に不安だ。

第4に、本補正予算に緑化保全推進にかかる予算が計上されているが、全体としては市民要望を積極的に取り入れていない予算である。以上により、反対する。

なお、12月定例会に提案が予定されている組織条例の改正にあたっては、これまでの議会の審議経過を十分尊重し、対応するよう強く要望する。

賛成討論 (要旨)

緑政会 野口議員

本補正予算は、緑化保全推進に要する経費として5億2579万7000円を盛り込むなど、まさしく積極的な予算であり、高く評価するものである。特に、後世により多くの緑を残すことは、現在市政に携わる者の責務であり、当市の21世紀をにらんだまちづくりに関する理想と哲学を堅持したすばらしい予算であるといっても決して過言ではないと確信する。

また、武蔵小金井駅北口駅前修景事業の一環として、ロータリー整備工事費1545万円を予算計上して

いることもあわせて評価したいと思ふ。

以上により、賛成する。

〈起立採決結果〉

賛成 〓 自民党、公明党、緑政会、民社党・市民クラブ

反対 〓 共産党、社会党、五十嵐、青木

以上により、原案可決。

平成元年度国民健康保険特別会計補正予算(第1回)

平成元年度下水道事業特別会計補正予算(第1回)

〈以上2件の起立採決結果〉

賛成 〓 自民党、公明党、緑政会、民社党・市民クラブ、五十嵐、青木、佐野

反対 〓 共産党、社会党以上により、原案可決。

平成元年度受託水道事業特別会計補正予算(第1回)

〈起立採決結果〉

賛成 〓 自民党、公明党、緑政会、民社党・市民クラブ

反対 〓 共産党、社会党、五十嵐、青木、佐野

以上により、原案可決。



議案・請願・陳情の結果

本定例会では市長から議案17件が提案され、12件を可決し、5件を継続審査としました。(予算の審議内容については別掲) 請願・陳情は49件(継続審査中のものを含む)のうち12件を採択し、37件を継続審査としました。

可決した議案

総務委員会付託案件

▼和解及び損害賠償額の決定について

平成元年6月に市職員が庁用自動車運転中に起こした接触事故に関し、相手方に修繕費として46万8135円の損害賠償金を支払うことで和解するものです。

▼小金井市議会の議員の報酬および費用弁償等に関する条例の一部改正について

10月分から、議長の報酬月額を41万円から46万円に、副議長については37万円から41万5000円に、議員については35万円から39万5000円に引き上げるものです。また、新たに常任委員長の区分



を設け40万5000円を支給することとするものです。

▼特別職の給与に関する条例の一部改正について

10月分から、市長の給料月額を71万円から78万5000円に、助役については61万円から67万5000円に、収入役については56万5000円から62万5000円に引き上げるほか、非常勤特別職の報酬額についても引き上げを行うものです。

▼小金井市教育委員会事務局等職員給与条例の一部改正について

10月分から、教育長の給料月額を56万5000円から62万5000円に引き上げるものです。

▼公聴会参加者等の実費弁償に関する条例の一部改正について

10月分から、公聴会等に参加した者に対する日当を760円から850円に引き上げるものです。

反対討論(要旨)

青木議員

今定例会で議論になったようにリース庁舎問題をはじめ、施設管理職員の適正配置などについて市民の理解が得られるだけの方針が示されておらず、行政に計画性がなく、こうした解決すべき問題が山積しているにもかかわらず、そ

意見書(要旨)

原爆被害者援護法の制定を

広島・長崎への原子爆弾投下による被害者は全国で約35万人おり、小金井市にも126人が在住している。現在「原子爆弾被害者の医療等に関する法律」等が制定されているが、被害者を十分に救済しているとは言いがたい。よって、政府に対し次の事項を含む「原爆被害者援護法」を一日も早く制定するよう強く要請する。

①原爆死没者の遺族に弔慰金及び遺族年金を支給すること。②被害者の健康管理と治療・療養をすべて国の責任で行うこと。③被爆者全員に被爆者年金を支給し、障害を持つ者には加算すること。提出先 〓 内閣総理・大蔵・厚生・自治大臣

義務教育諸学校の学校事務職員・栄養職員給与費の国庫負担制度維持を

政府は、昭和60年度以降「義務教育費国庫負担制度」の見直しを行い、教材費、旅費の国庫負担対象からの削除などを行った。さらに大蔵省は、平成2年度予算で学校事務職員及び栄養職員の給与費を国庫負担の対象から除外することを検討していると伝えられるが、もしこれが実施された場合、市町村の負担となる可能性が大である。こうした際限のない地方自治体への負担転嫁を許容するならば、地方財政はますます厳しさを増し、義務教育に重大な影響を及ぼすことが憂慮される。よって、政府に対し、学校事務職員及び栄養職員の給与費を国庫負担の対象から除外することなく、すでに国庫負担から除外・削減した費用の復元を図ることを強く求めるものである。提出先 〓 内閣総理・大蔵・文部・自治大臣

消費税の即時廃止を求める

4月1日からの消費税導入により、国民生活は重大な影響を受け、特に社会的弱者・年金生活者の暮らしは圧迫されている。さらに学校教育においても、実質的なレベルダウンを余儀なくされている。現在、政府は消費税の見直しを提案しようとしているが、消費税導入そのものが公約違反、国会決議違反であり、各地の選挙で消費税の廃止を求める民意が確認された今日、国民の意思を尊重し、今年度限りで消費税を廃止すべきである。提出先 〓 内閣総理・大蔵大臣

れを棚上げにしたまま議員報酬や特別職の給与などを引き上げることとは時期尚早と考える。以上により、反対する。

特別職報酬等関係4件の起立採決結果

賛成 自民党、社会党、公明党、緑政会、民社党・市民クラブ
反対 共産党、青木

厚生文教委員会付託案件

▼小金井市心身障害者福祉手当条例の一部改正について
10月分から、月額1万1500円を1万2000円に、7500円を8000円に、5700円を5900円に増額するものです。

▼小金井市児童育成手当条例の一部改正について
10月分から、育成手当については月額9500円を1万円に、障害手当については1万9000円を2万円に増額するものです。

▼小金井市老人福祉手当条例の一部改正について
10月分から、月額3万9000円を4万1000円に、3万3000円を3万4500円に、2万2000円を2万3000円に増額するものです。

請願・陳情

採択したもの

総務委員会付託案件

▼消費税の即時廃止を求める意見書採択を求める請願書
(東町四丁目39番8号 軍拡)

臨調反対、くらしと教育・平和を守る小金井実行委員会 代表委員 林雅寛

厚生文教委員会付託案件

▼原爆被害者援護法即時制定の促進決議と国への意見書採択に関する請願書
(本町五丁目22番10号 折鶴桜会 中山多輝子)

▼消費税による教育のレベルダウンに反対する請願書
(東町四丁目39番8号 東京都教職員組合北多摩東支部小金井地区協議会議長 林雅寛)



学校給食の原材料にも消費税が課税されている

建設委員会付託案件

▼貫井神社隣接私有地の買収に関する請願書
(中町一丁目7番24号 東京都みどりの推進委員小金井地区会長 佐野強ほか5人)

▼下水道防止及び緊急避難に関する請願書
(梶野町四丁目18番32号 梶野町町会長 土屋一治ほか25人)

▼下水道防止、緊急避難及び損害補償に関する請願書
(梶野町三丁目15番22号 富士見ヶ丘自治会会長 土屋貞男ほか84人)

▼「東京工学院」校舎建設
開校に関する請願書
(前原町五丁目4番12号 「東京工学院」校舎建設対策委員会代表 上原欣二ほか1775人)

▼「東京工学院」の移転に関する陳情書
(前原町五丁目2番46号 宮崎晃一ほか5人)

起立採決結果

賛成 共産党、社会党、民社党・市民クラブ、五十嵐、青木、清水、佐野

反対 公明党、緑政会、林、稲葉、中根

流域下水道野川第二幹線の建設促進を

梶野町、緑町近辺は流域下水道の柱である野川第二幹線の事業の遅れから、豪雨時ともなれば下水の逆流現象が生じ、溢(いっ)水による床上浸水、床下浸水等の被害を受けており、降雨時における地域住民の精神的負担は極めて大きい。よって東京都に流域下水道野川第二幹線の建設を一日も早く促進するよう特段の配慮を要望する。提出先 東京都知事

JRに労働委員会救済命令の履行を求める

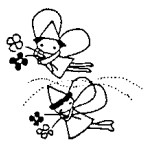
政府は、国鉄分割・民営化にあたっての法案審議の際、国鉄労働者を「一人も路頭に迷わせない」と公約し、付帯決議でもJR各社の採用にあたっては所属労働組合等による差別がないよう留意し、清算事業団職員の新事業体への吸収に努めるよううたっているにもかかわらず、今なお2536名の労働者が何の仕事も与えられず差別、人権無視、雇用と生活不安の日々を送っている。各地方労働委員会の審査においても所属組合によって採用、出向、配属が差別されていたことが立証され、全国で48件の救済命令が出されている。よってJR各社に対し適切な措置を講じるよう求めるものである。提出先 内閣総理・運輸・労働大臣、東京都知事

起立採決結果

賛成 共産党、社会党、五十嵐、青木、佐野
反対 自民党、緑政会

市長の執行責任に関するけん責決議

市長は「学校施設管理に関する決議」並びに「小金井市組織条例と小金井市組織規則に関する決議」について、いまだにこれを実行していない。この二つの決議は、多年にわたる本市議会の審議を経て提案、可決されたもので、市長が最優先に対応すべき重要課題であった。それにもかかわらず未解決のまま本日まで、なお延引している市長の執行責任は重大である。加えて、貸借による市庁舎問題に関しては、議会意思を反映せず手続きを進めるなど議会との信頼関係を喪失せしめ、また粗大不燃ごみ中間処理施設の爆発事故等に対し、本市議会への報告を怠るなど甚だ遺憾である。したがって、議会の意思をくみ、懸案事項を早期に解決することを強く要求する。





▼東京都市議会議長会8
月定例総会会議結果に
ついて
—会務報告及び諸報告
を承認した。

議長報告

（貫井北町三丁目24番
27号 小金井市民協議
会会長 黒田百樹）

▼屋塚石畳の保全と積
極的に都市景観の創造
を進めていただくこと
に関する陳情書

（東町四丁目16番19号
松下岳土ほか454人）

▼栗山公園の本格開放に
向けての陳情書

（中町一丁目11番7号
鈴木敬ほか22人）

▼旧国鉄集会所跡地等買
収保存に関する陳情書

引き続き審査する案件

委員会名	番号	件名	委員会名	番号	件名	
常任委員	請願第23号	調布飛行場に関する請願書	常任委員	陳情第10号	聖ヨハネ会「桜町高齢者在宅サービスセンター」の建設に関する陳情書	
	請願第26号	東小金井貨物駅跡地を都や市が買収し文化・スポーツ・福祉施設などをつくることを求める請願書		陳情第14号	「東京工学院」校舎建設・開校計画に関する事業者への指導等を求める陳情書	
	陳情第9号	「寄付の禁止」について市議会の決議を求める陳情書		陳情第23号	「市道の一部廃止」に関する陳情書	
	陳情第15号	小金井市南部地区への市民施設建設に関する陳情書		陳情第25号	道路裁判判決の後始末に関する陳情書	
	陳情第21号	市長の施政方針実現の第一歩として、施設管理室の統一的合理化を実施させることに関する陳情書		陳情第27号	くじら山下原っぱに建設が予定される野川第三調節池に関する陳情書	
	陳情第24号	固定資産税の未課税による時効と強制差押え取立ての不均衡に関する陳情書		陳情第31号	交通安全対策と住環境保全に関する陳情書	
	陳情第26号	「相当の期間内」に対する期日確定の陳情書		陳情第34号	野川第二調節池に多目的スポーツ広場の建設を求める陳情書	
	陳情第39号	事業者の制裁を求める陳情書		陳情第41号	野川第二調節池底地利用に関する陳情書	
	陳情第43号	「在日韓国人の法的地位協定」再協議に関する陳情書		陳情第44号	新用途地域に基づいて行われる(仮称)「モンシャトー渋谷」新築工事に関する陳情書	
	委員	請願第22号		「教科書採択要綱」の改善、「新学習指導要領」の白紙撤回とその先取り具体化の中止を求める請願書	特別委員	問題中央線
陳情第11号		たけとんぼ学童保育所の定員拡大等を求める陳情書	駅周辺開発問題調査			駅周辺開発に伴う諸問題の調査
陳情第12号		たけとんぼ学童保育所の早期改築等を求める陳情書	ごみ問題対策			ごみ減量対策及び終末処理にかかる諸問題の調査
陳情第16号		除草剤散布中止の指導を求める陳情書	特別委員	請願第24号	リース庁舎計画の白紙撤回を求める請願書	
陳情第18号		小金井市障害者福祉センター(B型)建設事業に関する陳情書		陳情第30号	市庁舎の借家契約に反対する陳情書	
陳情第28号		スポーツ開放校の更なる充実を求める陳情書		陳情第32号	リース市庁舎建設計画に対する反対陳情書	
陳情第36号		学童保育所の施策の充実を求める陳情書		陳情第33号	市庁舎の建設促進に関する陳情書	
陳情第37号		小金井市障害者福祉センター建設にあたっての陳情書		陳情第35号	賃貸借庁舎の確保促進に関する陳情書	
陳情第38号		児童・生徒の交通安全確保を求める陳情書	特別委員		庁舎建設等に関する諸問題の調査	
陳情第42号		小金井第三さくら作業所開設に伴う助成金交付に関する陳情書		認第1号	昭和63年度東京都小金井市一般会計歳入歳出決算の認定について	
請願第12号	本町三丁目・旧三菱化成社宅跡地の買収に関する請願書	認第2号		昭和63年度東京都小金井市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について		
請願第16号	くじら山下原っぱを現状のまま残すよう求める請願書	認第3号		昭和63年度東京都小金井市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
請願第17号	西武鉄道新小金井駅周辺の自転車置場設置に関する請願書	認第4号		昭和63年度東京都小金井市受託水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		
			認第5号	昭和63年度東京都小金井市老人保健医療特別会計歳入歳出決算の認定について		

一般質問

ごっこがききたい ただしたい

市政全般について、議員が自由にただせる一般質問の制度があります。今定例会では、3日間におたり17人の議員による一般質問が行われました。以下はその要旨です。(7~11ページ)



高齢者用住宅を

早期に確保せよ

和田議員 ①民間アパートの借り上げによる高齢者用住宅の確保について、②都の補助金を受けながら具体的に取り組む考えはないか。③土地所有者等に直接お願いするとともに、公募等で協力者を募らないか。

市長 ①十分検討し、遠くない時期に何らかの具体策を示したい。
福祉部長 ①場合によっては市報で公募することも考えるが、農協とも相談しながら検討したい。

だけでなく国や産業界にも働きかけ、プラスチックごみ等が発生しないようにしないか。

市民部主幹 ①ごみ減量のため、より効果のある方策を検討したい。

市長 ①難しい問題であるが、実行可能なものから取り組みたい。
②パート労働講座や平和関連行事などは、有意義な事業であるにもかかわらず、参加者が少ない。広く市民にPRしないか。

東小金井駅前周辺の 美化清掃を徹底せよ

武井議員 ①駅前には市の顔とも言われているが東小金井駅前にはフエンス沿いに雑草が茂り、自転車が長期間放置され、くずかごにはごみがあふれている。また、南口では悪臭がする。対応は。
建設部長 JRに除草を要請したい。付近のU字溝や集水ますを清掃し、悪臭の除去に努めたい。
市民部主幹 くずかごのごみは

週1回収集しているが、なお改善策を検討していきたい。

②総合体育館について、③屋根付きの自転車置き場を設置しないか。④プールの水深がかなりある。児童の安全確保のため1コースだけでも、すのこを敷かないか。⑤開館時間を延長しないか。

教育委員会事務局主幹 ①公園管理者である都に相談したい。②足を踏みはずす危険があり、難しい。③利用状況を見て検討したい。

③緑地保全に向けて④第2次緑化計画はいつ策定するのか。⑤基金の積み立て額が少ない。計画的に積み立てないか。⑥1万㎡以上の緑地等は都の緑地保全地域の指定を受けると都に用地を買収してもらえらる。指定対象面積を500㎡以上に引き下げるよう要請しないか。

計画開発部長 ①平成3年度実施に向け策定していきたい。②努力したい。③市長会を通じて都に対象面積引き下げを要望している。

市営グラウンド散水

設備の改善を

清水議員 ①市営グラウンドの散水設備は故障しやすいため使用されていないと聞く。付近住民に砂ぼこりなどによる迷惑をかけないよう設備そのものを改善しないか。

教育委員会事務局主幹 当面は故障のないよう整備しながら使用し、見直すべき時期には改

めて検討したい。

②梶野通りは街路樹が繁茂し見通しが悪いうえに、電機大グラウンド付近の街路灯が少なく、交通事故が多発している。対策は。

建設部長 植栽の手入れを行うとともに、カーブミラーの設置も考えたい。街路灯についてはどのような措置がとれるか検討したい。
③中央線による南北交通分断を抜本的に解消するため、市としてどう対応するか。

計画開発部長 今後東京都とJRによる調査・検討がなされる予定だが、本市にとって最も望ましい方法がとられるよう努力したい。
④リース庁舎の是非について種々論争がされているが、議員としてもいたずらに市民の政治不信をおおったりすることなく、問題の根幹に立ち返って議論すべきだと思う。計画を進めようとする市の基本的な考え方を聞きたい。
市長 土地所有者の理解が得られれば将来取得する考えである。永久にリースのままとする方針は持っていない。



秋空のもと思い切りスポーツを
(市営グラウンドで)

高齢者住宅 施策の推進を

村野議員 ①東京都はホームレス老人を救済するため、民間集合住宅を借り上げ老人住宅とする施策を打ち出した。(ア)東京都が市内の民間集合住宅を借り上げたということがあるのか。(イ)都の補助を受けながら、市独自に老人住宅を設置する考えはないか。(ウ)地主の

協力を得るための具体的な対応は、**福祉部長** (ア)市内にはない。(イ)実施できるように早急に検討したい。(ウ)現在、農協の資産管理部と接している。今後、ひとり暮らし老人、老人世帯への緊急対応を含め、日常生活用具等の考え方を示し、具体的な話し合いに入りたい。

②最近、また放置自転車が増加の傾向にある。整理をしても駅の周辺は一人の通行がやつの場所もある。(ア)週に1、2回の撤去ではなく、日常的に放置自転車の

撤去を行い、それでもなお、放置する者からは過料を徴収しないか。(イ)今後の対策はどうか。

建設部長 (ア)放置自転車の撤去場所の確保が難しいが、今後、自転車置き場の整備にあわせ、撤去料についても検討したい。(イ)自動車駐車を立体化し、上部を市営又は個人経営の自転車置き場にする。さらにはJRや国鉄清算事業団と交渉し、自転車置き場の確保に努力していきたい。

震災時の防災 対策は万全か

小峰議員 ①関東大震災規模の地震が起きた際の防災対策について、(ア)飲料水の確保は。(イ)非常食を十分備えないか。(ウ)民家の井戸を緊急時に利用できるような所有者と契約しないか。(エ)避難場所や防災施設、安全対策指針等を示した防災地図等を家庭に配布するとともに避難経路を示した掲示板を道路などに設置しないか。

水道部長 (ア)配水池の完成後は10日分程は確保できると思う。

総務部長 (イ)備蓄を計画的に進めたい。(ウ)検討したい。

②過去に採択された請願・陳情の処理状況について、(ア)武蔵小金



井駅に西口改札口の開設は。(イ)貫井北町西北部に子供広場の設置は。(ウ)貫井南町四丁目1番先交差点付近の交通安全対策の取り組みは。

企画部長 (ア)駅長と交渉したが、難しい状況だ。なお努力したい。

計画開発部長 (イ)JR等へ土地の借用方を依頼したが、現時点では貸せないとの回答を受けている。

建設部長 (ウ)見通しを良くするため、樹木のせん定等を土地所有者に依頼するなどしている。

梶野町、緑町地区 の溢水対策は

野口議員 ①今年雨量が多く、特に夏の集中豪雨は、梶野町、緑町の一部地域に溢(いっ)水等の被害をもたらした。この原因は下水道野川第二幹線の未完成にある。災害防止に向けて、(ア)市はどのように対応しているか。(イ)集中豪雨時の市民への通報体制を整えないか。(ウ)半地下式車庫の車の一時避難場所の確保は。(エ)被害者への補

東京工学院校舎 建設について問う

小池議員 ①東京工学院の校舎建設については業者と地域住民との話し合いがについておらず、市の宅地開発等指導要綱に基づく事前審査の結論も出されていないなかで業者は一方的に都に建築確認申請を提出した。企業の論理のみを優先した業者の強行的な姿勢に対し、市はどのような指導を行っていく考えか。

計画開発部長 住民との話し合いにより、円満解決するよう指導していきたい。

②身体障害者福祉センターの建設計画について、(ア)関係者の意見を十分取り入れながら作業訓練設備を導入するとともに、就労あつ

せん事業も行わないか。(イ)三小敷地内ではなく、他の用地への建設を考えるべきではないか。(ウ)駐車場を広くとらないか。(エ)作業療法士等の専門職員を配置しないか。

福祉部長 (ア)研究課題としたい。(エ)慎重に検討したい。

企画部主幹 (イ)当面、現行の方針を進めたい。

助役 (ウ)調整してみたい。

③ひとり暮らし老人に対する施策について、(ア)友愛活動員と家庭奉仕員との連携を図らないか。(イ)給食サービスの回数を増やし、内容を充実させないか。

福祉部長 (ア)課題としたい。



賃制度を考えないか。

建設部長 (ア)下水道野川第二幹線の早期完成に向け、都に対しさらに強力で要請を重ねていきたい。

総務部長 (イ)警報等発令時には町会等の代表者に電話連絡を考慮したい。(ウ)避難場所の確保に協力したい。(エ)現在、災害見舞金制度があるが、今後額等の検討をしたい。

②関東大震災級の地震がいつ発生しても不思議でないといわれている。震災発生に備え、井戸のあ

る家に市で簡易発電機を設置し飲料水の確保をしないか。

総務部長 井戸を使用させていただけよう方策を考えたい。

③交通安全の確保に向け、(ア)東小金井駅周辺は放置自転車が増え、貨物駅跡地を自転車置き場として借りないか。(イ)梶野通りの街路樹やフェンスを低くし、見通しを良くしないか。

建設部長 (ア)引き続き国鉄清算事業団と交渉したい。(イ)検討したい。



新鮮な地場野菜を学校給食に

新鮮で安全な

学校給食を

五十嵐議員 食品への薬剤や添加物の使用が多くなっている現在、学校給食においても現行の自校調理方式を生かした新鮮で安全な給食づくりに努めるべきだと思う。(ア)地場野菜を給食に取り入れることは教育上好ましいだけでなく、地域の農業振興にもつながる。積極的に取り組む考えはないか。(イ)アレルギー体質の児童が学校給食を食べ死亡するという事故が札幌市で起きている。アレルギーについて調査を行っているか。(ウ)ごみ減量の一環として、生ごみ高速

発酵処理機を導入する計画はあったか。(エ)食器等の洗浄には合成洗剤でなく、石けんを使用しているか。(オ)学校給食を地域に開放し、老人配食サービスや地域住民を対象に試食会などを開催しないか。

教育次長 (ア)現在、小中学校8校がモデル校として地場野菜の供給を受けている。(イ)特に調査はしていないが、家庭との連絡をとりながら個々に対応している。(エ)昭和59年をもって全校で石けんへの切りかえが完了している。

市民部主幹 (ウ)設置場所や管理体制の問題から導入に至っていないが、引き続き検討したい。

教育長 (オ)現時点では地域に開放する考えはない。

消費税に対する市の対応を問う

大島議員 ①消費税の導入により、学校教育や生活保護受給世帯、老人障害者世帯の暮らしに大きな影響が出ている。(ア)4月から学校給食を平均約3%値上げしたが、すべて消費税にあてられ、当初予定していたカロリーや栄養面で児童・生徒には値上げ分が還元され

ていないと思う。栄養豊かな給食を提供するため、緊急対策として給食費に補助金を出さないか。(イ)生活保護を受けている世帯や所得の低い世帯、障害者世帯へのさまざまな影響を十分調査し、その実態に基づき、積極的な対策を講じるべきではないか。

教育次長 (ア)栄養士などの工夫により、当初予定した必要カロリー数等は確保しており、今後の状況を見ていきたい。

市長 (イ)今後、十分推移を見守

小中学生にボランティアの体験学習を

中根議員 ①現在、我が国では急速に高齢化が進み、ひとり暮らし老人が増えている、たとえ十分な年金等を受け、生活が安定したとしても、人と人とのふれあいがなければ真に豊かな生活はできず、そこにはボランティアが重要な役割を担うことになると思う。(ア)現在行われている市の施策は十分か。(イ)ボランティアの確保にどう取り組むか。(ウ)日本ではボランティア活動に対する意識が低いようだ。児童・生徒の豊かな感性を大きく

等々の協力を得ながら社会参加の場を設けているが、参加者が少ない。今後ともどのような施策を行うべきかを模索していきたい。

福祉部長 (イ)市民ボランティアについては社会福祉協議会が中心となっており、市として、その組織づくりを進めたい。

教育長 (ウ)現在、5校がボランティア協力校の指定を受け、老人ホームを訪問したり、青少年赤十字に加盟し、活動している。今後とも学校教育の中で社会奉仕の精神が養われるよう努力していきたい。

市長 (ア)現在、社会福祉協議会



桜町聖ヨハネホームを訪問する二中の生徒たち

り、研究したい。

②非核平和都市宣言にふさわしい行政の一環として、原爆被爆者を積極的に援護すべきだと思う。被爆者が高齢化し、被爆の不安をかかえながら生活している状況なかで、二度と被爆者をつくってはならないという意思を込め、要綱による見舞金支給制度ではなく、原爆被爆者援護条例を制定し、手当として支給すべきだと思うがどうか。

市長 今後十分研究したい。

②投票所を増やし、市民が投票に行きやすいようにしないか。
選挙管理委員会事務局長 検討したい。

市民参加で心身障害者センターの建設を

井上議員 ①心身障害者センターについて、(ア)三小敷地内への建設は困難である。早急に他に用地を確保すべきではないか。(イ)施設内容等については関係者の意見を十分取り入れられないか。(ウ)運営主体を当初から決めておかないか。

市長 (ア)仮に他に用地を求める

ことになった場合は慎重な対応が必要と考える。

福祉部長 (イ)施設計画のめどがついた後に意見を聴きたい。(ウ)専門的な団体に運営を委託したい。

②市は長期計画にも入っていないはけの森緑地用地の買収を行う一方で、庁舎については多くの市民が反対しているリース方式を採用しようとしている。用地買収について計画性がないのではないかと

市長 庁舎については用地の買収も含めて土地所有者と折衝した

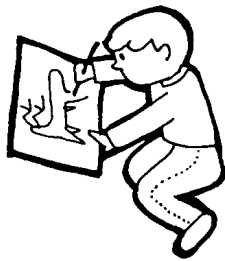
放置自転車をなくすために

すのほら議員 放置自転車をなくすためには、自転車置き場の増設とともに撤去作業を根気よく繰り返すしかない。(ア)職員体制を整え、撤去作業を毎日行わないか。その場合、作業に要する車両と職

員数はどれくらいか。(イ)JRや大型店舗は企業の責任として自転車置き場を用意すべきであるにもかかわらず、自治体に自転車対策を任せている。置き場を設置するよう繰り返し働きかけをすべきでは

(ウ)駅から少し離れた場所であっても、土地所有者の協力が得られれば自転車置き場として借用してはどうか。(エ)地価高騰のなかで、武蔵小金井駅北口広場の地下に自転車置き場を建設することについて

具体的に調査、検討する考えは。 **市長** (ア)撤去した自転車の保管用地が確保できなければ、連続した撤去作業は難しい。今後とも用地確保を先決問題として取り組んでいきたい。(イ)中央線の高架化事業や武蔵小金井駅周辺再開発事業の動向を見きわめながら検討していきたい。



が、直ちには売却できないとのことなのでリース方式を採用した。長期計画を基本にしながら情勢の変化に即した対応をしていきたい。

③溢(い)つ)水対策について、(ア)雨水浸透ますの設置をさらに進めないか。(イ)野川第二幹線と本市の下水管との接続部分の工事を早期に行うよう都に要請しないか。(ウ)被害者への見舞金を増額しないか。

建設部長 (ア)今後とも推進したい。(イ)重ねて要請したい。

市長 (ウ)検討したい。

教育費の負担軽減を

建設部長 (ア)撤去作業を行うには少なくとも3、4台の車両と10人程度の職員が必要である。(イ)今後とも努力したい。(ウ)借用できる場所があれば、確保に努めていきたい。

教育費の負担軽減を

長谷川議員 ①教育費の父母負担を軽減するため、(ア)修学旅行に補助金を支給しないか。また、海の移動教室の食費のうち、原材料費以外は市の負担としないか。(イ)副教材費の補助金増額は。

教育次長 (ア)原則的に父母に負担していただく考えであるが、今後、全体的に検討したい。(イ)実情を調査したうえで検討したい。

人と動物とのふれあいを深めるために

小尾議員 ①人と動物との心のふれあいと共存を願う立場から、(ア)犬・猫去勢不妊手術補助金制度を充実させないか。(イ)子犬等の里親探しを市の主催で行うとともに、動物ふれあい広場などのイベントを企画しないか。(ウ)ふん害を防止するとともに、市民に動物愛護の精神を持つてもらおうようペット条例を制定しないか。

市民部主幹 (ア)今後の状況を見ながら考えたい。(イ)ウ)どのように取り組んだらよいか検討したい。

②総合体育館では当初の見込みより使用料収入が上回っているが、何らかの方法で市民に還元すべきだ。たとえば東小金井駅と体育館

③中小企業の育成、振興のため、(ア)中小企業育成条例を制定しないか。(イ)大資本系コンビニエンス店の出店や営業時間について規制等ができないか。(ウ)消費税の影響を受けている中小企業に対し、特別給付金を支給しないか。

市民部長 (ア)今後の研究課題としたい。(イ)コンビニエンス店の多くは、従前から地元で営業してきた個人経営者が大型店と契約を結んで出店しているので、その規制

との間に自転車レンタル事業を実施したり、体育館を通る市内循環バスを運行させないか。

市長 今後建設予定の江戸東京博物館屋外施設への交通問題もある。他の方法も含め検討したい。

教育委員会事務局主幹 使用料収入の市民への還元については今後の推移を見きわめる必要がある。検討課題としたい。

③貫井南町二丁目11番先の十字路で数年間に3回も交通事故が発生し、同じ民家の塀が壊されている。プリンカーライト等を設置し、ドライバーの注意を喚起しないか。

建設部長 有効な方法がとれるよう検討したい。

③老人福祉について、(ア)老人ホームの建設に向け長期的な計画をもたないか。(イ)給食サービスを希望者全員に週5回行わないか。(ウ)訪問看護の回数を増やさないか。

福祉部長 (ア)何らかの対応ができるよう努力したい。(イ)体制づくりに努め、将来は毎日サービスをできるようにしたい。(ウ)従事者の確保が必要であり、課題としたい。



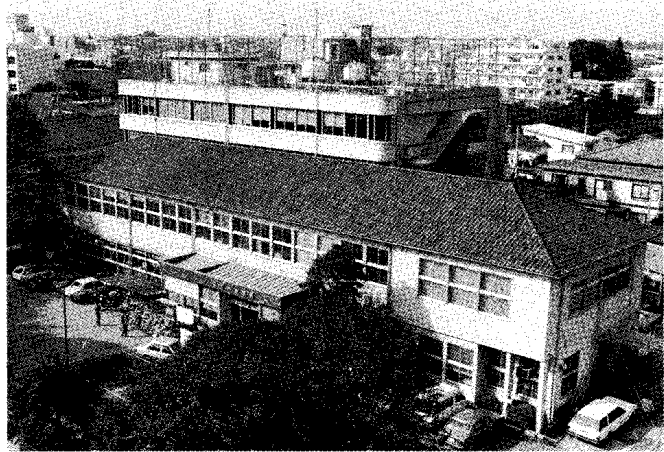
賃貸借庁舎に

ついて問う

藤川議員 今日の日本における土地の稀少性と地価高騰の一因は、今日の社会・経済情勢の変化に適応できない借地借家法にあると言われており、この早期見直しが叫ばれている。このような状況の中で、市は庁舎建て替え計画にあたって借地借家方式を採用しようとしているが、(ア)その基本的理念は、(イ)借用に際してなぜ信託方式とするのか。(ウ)自らの土地に自らの庁舎を建設することは、資金的に不可能との見方もあるが、どう考えるか。(エ)将来的に市庁舎を含む大規模公共施設を建設するに足りる用地を確保することは可能か。

(オ)床への荷重等を考えた場合、現庁舎での全庁的OA化は可能か。
市長 (ア)小金井の土地事情が非常に難しい状況にあるところからやむを得ざる選択として、この方法も一つの有効な手段と考えている。(イ)信託方式は長期安定的な対応ができるうえ、自前の庁舎を建設するよりも市民負担を軽減する意味から有効と考えている。

企画部主幹 (ウ)市内の一団の大きな土地のほとんどが長期営農継続農地であり、一区画2000㎡以上の土地取り引きも年1〜2件しかない状況から考えて難しい状況から考えて難しい。



庁舎の建て替え問題が論議されている

(オ)木造庁舎の状況、現庁舎のスペース的な問題等から考えて難しい。

パート退職金条例の早期制定を

青木議員 ①パート労働者の退職金制度を確立するには、共済掛金補助制度だけでは不十分である。基金を設けたり、市が共済制度の受入れ団体になるなどし、早急にパート退職金条例を制定しないか。
市民部長 パート退職金制度は東京都が広域的に制度化すること

が好ましい。当面は共済掛金補助制度のPRを行っていきたい。

市長 市長会で都に退職金制度の創設の予算措置を求めている。

②市が進めようとしている賃貸借庁舎計画では30年間で約210億円の賃貸料を支払わなければならない。反対である。(ア)210億円のうち建築費は約51億円であり、その差額が信託銀行と地主の利益となるのではないか。(イ)現敷地での建設は不可能か。(ウ)北側住宅地への影響から現敷地での建設は難しいという

が、環境等の調査はしたのか。

企画部主幹 (ア)建築費には約59億円の利息がつくほか、固定資産税や信託報酬等も支払わなければならないので、すべてが地主の利益となるわけではない。(イ)現敷地での建設は不可能ではないが、用途地域等を変更し、仮庁舎を建設しながら建て替えるには10年以上の期間を要する。

総務部長 (ウ)北側住民から用途地域等の変更に対して反対する意思表示があり、今回の変更は見送った。

老人住宅の早期実現を

森戸議員 ①高齢化社会の到来を前に老人福祉施策の充実が叫ばれているが、特に老人住宅の確保が緊急課題となっている。老人住宅の早期実現に向けて、具体的に取り組みはないか。

福祉部長 事業化する際に土地所有者にどの程度協力いただけるかを把握するため、農協資産管理部と意見交換をした。できる限り、新年度に土地所有者との交渉に入れるよう調整したい。
市長 早急に一定の結論を出していきたいと考えている。

②学校教育の充実のためには、十分な予算措置が必要だ。(ア)小学校の教科書改訂により教師用指導書の購入が必要となり、その結果、各校とも消耗品費等にしわ寄せが起きている。指導書購入費の予算を補正しないか。(イ)備品費等の消費税相当分を補正しないか。

教育次長 (ア)現行予算内で措置可能と考えるが、なお学校長とも協議したい。(イ)状況を見たらうでしかるべき措置をとりたい。
③女子教職員が婦人科検診を受けやすくなるため、学校行事等と重ならないように実施日を設定したり、実施期間を長くするなどの検討をしないか。
教育次長 医療機関と協議したい。

常任委員会 先進市を視察

8・9月中に常任委員会の行政視察を実施しました。視察先、内容は次のとおりです。
〈総務委員会〉

視察先 大分県大分市、宮崎県宮崎市

内容 コンパルホール、市庁舎、まちに緑と花をふやす運動など3つの市民運動

〈厚生文教委員会〉

視察先 熊本県熊本市、福岡県福岡市

内容 福祉センター、障害者フレンズホーム、障害者スポーツセンター

〈建設委員会〉

視察先 沖縄県沖縄市、鹿児島県鹿児島市

内容 中央パークアベニュー整備事業、緑化推進10か年計画



市長報告

▼学校施設管理に関する決議の対応について

①市民の納得を得られる学校施設管理方法を早期に見いだすべきことについて

職場との検討会では、正規職員
の不足分を非常勤嘱託職員で対応
することについては是という方向
で一致をみているが、夜間(午後
10時以降)の学校警備を機械及び
巡回警備で対応することについて
はなお協議中である。

②管財課施設管理係の事務室を1か所に集中する件について

現在の狭い庁舎の現状から
解決策を見出すまでには至って
いない。学校施設管理制度との関
連もあるので調整が必要と考える。
問 検討会が37回も開かれてい
るにもかかわらず、見直し作業が
一向に進んでいない。市長の見解
と今後の方針を聞きたい。

答 市の財政状況からも、学校施設管理に年間数億円の経費を投じているという実態をこのまま放置することにはなりにくい。現在、31名の職員を雇用しているという状況を踏まえながら、夜間については順次機械プラス巡回警備に切り替える考えである。職場と十分協議し、市民の納得が得られるよ

うな施設管理方法を早期に見い出
していききたい。



▼小金井市組織条例と小金井市組織規則に関する決議等への対応について

①建設部と計画開発部の所管事項で交差している部分について

現在、第2次基本構想が目指す
まちづくりを推進するため、12月
議会に向けて組織改正案の策定に
入ったところである。建設部と計
画開発部の所管事項の交差する部
分については、決議の趣旨に即し
先行的に整理すべきであるとの意
見ではあるが、条例・規則等の改
正は全庁的組織改正案が定まらな
いうちは困難なので、全体の組織
改正とあわせて対応させてほしい。
②建設部の業務の在り方につ
いて

貫井北町分室の当直については
土木作業用車両等の財産管理上や
緊急時の対応上、当面継続させる
が、さらに検討を進めたい。また、
特殊勤務手当については条例・規
則等と職務内容との整合性が保て
るよう早期に措置をしたい。さら
に、市民からの道路補修依頼等の

受付窓口については組織改正にあ
わせて整理していきたい。

問 土木課維持補修係の所掌事
務が他課の所掌事務と重複してい
るため、事務手続き上の責任と権
限が不明確になっている。12月定
例会に組織改正案を提案し、これ
らを是正するというが、進捗状況
はどうか。

答 組織検討委員会で検討を進
めており、素案の作成は完了して
いる。12月議会に提案を予定して
いる組織改正のなかで、各課の事
務分掌に整合性を持たせるとも
に、市民にとってわかりやすい組
織となるよう努力していきたい。
※以上2件については今後の対
応を見守るということで、中間報
告として位置づけることになりま
した。

全員協議会

8月21日
開催

▼二枚橋衛生組合ごみ焼却場移転(案)について

部局から、「二枚橋焼却場の建
替え問題については、議会や地
域住民の方々と協議を進めてきた
ところだが、7月13日に東京都か
ら、現焼却場敷地と野川公園用地
の一部とを等積交換する案が示さ
れた。組合正副管理者で協議した
結果、今回の提案は今日考えられ
る焼却場建設のための最大の案で
あること、また、現在地で焼却し
ながら新たな場所により近代的な
施設の建設が可能となることなど
からこれを受け入れることとし、
7月21日の組合議会全員協議会に

焼却場移転(案)を示したところ
である。9月4日に再度全員協議
会を開催し、3市の意見をとりま
とめることになっているので、議
会の意見をうかがいたい」との説
明がなされました。

これに対し、付近住民への被害
が少ない場所を選定するよう都に
要請してほしい、分別収集を徹底
するなどして公害を発生させない
よう努力すべきだ、緑や公園景観
等の保全のため地下利用を図るべ
きだ、などの意見・要望がなされ
、今後これらを踏まえうえて対応
していただきたい、との集約がな
されました。

＝ 閉会中の委員会日程 ＝

- 10月23日(月) 建設委員会
- 11月6日(月) 決算特別委員会
- 7日(火) "
- 8日(水) "
- 16日(木) 総務委員会
- 20日(月) 駅周辺開発問題調査特別委員会
- 22日(水) 厚生文教委員会
- 24日(金) ごみ問題対策特別委員会
- 28日(火) 中央線問題対策特別委員会
- 12月1日(金) 庁舎建設問題等調査特別委員会

編集後記

今年の秋は気温がゆるやかに下がった
ため、紅葉がいまひとつ鮮やかさに欠け
るようです。開村100周年記念行事や恒例
の市民まつり、体育祭なども盛況のうち
終了しました。
開会前から波乱含みといわれた9月定
例会は会期延長を重ね、10月10日未明、
決着をみました。
傍聴してもわかりにくいと言われる議
会の動きをいかに市民の皆さんに伝える
かが、議会だよりの今後の課題だと考え
ます。率直なご意見・ご要望をお寄せく
ださい。
(議会報編集委員会)

